

みき通信

くぼたみき 活動報告

第23号 2012年9月25日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

魂のメッセージ

9月9日(日)、横須賀で被曝者で医師の肥田舜太郎さんの講演会がありました。

94歳の身で、3.11以後、全国からの依頼に応じて講演に回っていること。着席せず立ったままで淡々と話されていましたが、理路整然とした内容とエネルギーあふれるお話は、年齢を感じさせない迫力あるすばらしいものでした。

テーマである内部被曝のお話から、何故国が原発に依存し続けるのか、何故貧困がひろがり生活不安に陥っているのかなど、日米安全保障条約や改悪された労働法にまでふれて、問題の本質に迫る内容でした。

「目の前の不安を取り除き、安心を得るためには、そこにだけ目を向けてはいけない。広い視野から問題をとらえ、しっかりと行動しなさい」と叱咤されているように感じました。

毎週金曜日に行われている首相官邸前の脱原発抗議行動など、意思表示をし、あきらめずに行動する人が増えています。

この葉山でも、原発に依存せず自然エネルギーに転換しようと考え、行動しようという人たちが出てきています。

子どもたちの未来のために、力を合わせていきたいものです。

10月9日から一般質問です。皆さんの議会傍聴をお待ちしています。

「原発ゼロ」「オスプレイ配備反対」の声高く くぼたみき
暑さもやっと一段落というところでしょうか。

9月21日の最初に取り上げられていたニュースがiphone 5の発売でした。それと同時刻、山口県岩国基地では科学的根拠のないまま「安全が確認されている」としてオスプレイの試験飛行準備が行なわれています。その横では、飛行に反対する多くの方々から怒りの声が上がっていました。

なぜオスプレイはアメリカでは、騒音や安全性に対する住民の不安の声、自然環境への懸念に配慮し訓練は中止されています。

9月、沖縄で10万人が参加した「**オスプレイ配備反対集会**」。7月に17万人が参加した「**脱原発集会**」。毎週金曜日の「**脱原発集会**」は今でも官邸前で行われ、全国へと広がっていますが、このことはニュース、新聞であまり取り上げられることが少ないようです。

しかし、8月に行われた「エネルギー、環境に関する選択肢」のパブリックコメントに寄せられた約9万件の声は、87%の方が原発0を望んでいます。この結果を受けて野田首相は「2030年に原発稼働ゼロ」と発表しました。それが、2030年が2030年代と後退、それでも納得しない財界やアメリカの圧力で、閣議決定もできない状況です。

消費税は上げないとマニフェストにかかげておきながら、3党談合で引き上げた野田政権。原発ゼロ、再稼働反対の行動や発言は、後退しつつける政府を動かす大きな一歩になるのではないのでしょうか。

何時自宅に帰れるかわからない福島の方々の多くがにいるのに終息宣言をし、何万人、何十万人が原発再稼働反対の声を上げているのに再稼働。そしてオスプレイの試験飛行を始めました。

近隣住民の反対の声で飛行訓練を取りやめたアメリカ。何十万人もの反対の声がある日本で、何故飛行し、沖縄に配備するのでしょうか。

原発稼働、オスプレイ飛行を推進したがつているのは誰かは明らかです。反対する声、運動の手をゆるめたら原発ゼロは実現できません。諦めず、緩めず、行動を続けていきましょう。